

2022.11.1

第163号



○いたくら 議会だより



満開のコスモスが咲く中、3年ぶりの秋の揚舟

今月の主な内容

- 9月定例会・議案審議…………… P.2
- 一般質問…………… P.5
- 予算決算常任委員会（決算審査）…………… P.8
- 事務事業評価・請願審査・議会日誌…………… P.13
- みんなの声…………… P.14

板倉町議会ホームページへ

QRコードを読み込むと議会
ホームページが開けます



一般会計・特別会計の補正予算を可決 令和3年度決算を原案どおり認定 一般質問に3人が登壇

令和4年第3回定例会が、9月6日(火)から14日(水)までの9日間の日程で開催されました。今回の定例会では、人事案件3件、報告1件、承認2件、条例の制定1件、条例の一部改正1件、令和4年度補正予算3件、令和3年度決算認定5件、請願1件の報告1件を除く16議案が審議されました。



人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦について
令和4年12月31日付けで任期満了となる松村美枝子さんの後任として、山口秀雄さん(大字西岡)を適任者として賛成しました。

◆板倉町教育委員会委員の任命について
令和4年9月30日付けで任期満了となる矢嶋廣紀さん(大字大高嶋)を引き続き任命することに同意しました。

◆板倉町固定資産評価審査委員会委員の選任について
令和4年9月19日付けで任期満了となる鈴木喜一郎さん(大字板倉)を引き続き選任することに同意しました。

承認議案

◆専決処分事項の承認について(令和4年度板倉町一般会計補正予算(第4号))
歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ6,063万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ62億8,044万4千円とするものです。

問 青木委員

歳入の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の国庫支出金6,620万5千円の追加により、財政調整基金の繰入を557万5千円減額しているのはなぜか。

答 中里副町長

今回国から臨時交付金の上限額が示され、今年度当

議決議案

◆板倉町防災備蓄倉庫の設置及び管理に関する条例の制定について
現在整備中である西岡地区及び海老瀬地区の洪水時緊急避難場所に、防災備蓄倉庫を設置するにあたり、良好な管理及び適正な利用を図ることを目的に制定するものです。また、これまで設置してきた防災備蓄倉庫につきましても、本条例



防災倉庫(東小学校)

◆板倉町揚舟運航条例の一部を改正する条例について
揚舟運航事業の運営における小学生以下の乗船者利用料を無料から500円に改正するものです。改正理由は、令和4年6月の春の揚舟運航事業より、揚舟乗船者の保険加入をこれまでの傷害保険に加えて賠償責任保険にも加入したことから、賠償に係る保険料が増

額したため、小学生以下の乗船者利用料の引き上げを行い、今後の継続的な事業運営を図るものです。

問 針ヶ谷委員

本議案が議決した場合に、何月何日の運航からこの料金に改定されるのか。また、広報いたくら9月号で1人1,000円という記述があったが、町内外の方に向けて誤解がないようお知らせする考えは。



答 橋本産業振興課長

秋の揚舟が9月17日から10月30日まで運航を予定していますので、9月17日から改定料金をお願いしたいと考えています。また、議決前に改定料金をお知らせできまので、議決されましたら、広報紙は10月号で訂正させていただきます。もちろん揚舟の会場には改定後の料金を掲示して、ご

理解をいただければと思っています。

◆その他の報告・議決議案

○令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
○専決処分事項の承認について(令和4年度一般会計補正予算(第3号))
※令和3年度各会計決算認定及び請願第2号の審議については、別ページに掲載しています。

補正予算審査

議案第28号 令和4年度板倉町一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1,122万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ63億9,167万2千円とするものです。

問 延山委員

降ひよう被害に関しての農業災害対策事業費補助事業138万2千円の追加について説明いただきたい。

答 橋本産業振興課長

この事業は露地野菜の被

問 小野田委員

降ひよう被害に関しての被災農業者向け復旧支援事業2千万円の追加について、当初の町の負担はどのくらいを予定していたのか。

答 橋本産業振興課長

町が報告したハウス農家の被害状況から県が算出した事業費を基に100万円以上の被害があった方を対象にシミュレーションをしたところ、5億円くらいの事業費になりました。それに補助率の調整や財政状況などを含め検討した結果、5%の2,500万円で見込みました。最終的には被害にあった農家160件から53件の申請があり、2億円くらいの事業費となりましたので、5%で換算する

問 針ヶ谷委員

被災農業者向け復旧支援事業について、2億円の5%で1千万円というような答弁があったが、この2億円の根拠を伺いたい。

答 橋本産業振興課長

53件の方が3社以上の見積りを取り、それを積み上げた額で、若干これから増える可能性もありますので、プラスアルファを見込んで、事業費総額として2億円の5%で計上しました。

問 荒井委員

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業1,761万3千円と新型コロナウイルスワクチン接種対策事業4,304万8千円の追加について、これらの内容を伺いたい。

答 玉水健康介護課長

これらは8月に国からの事務連絡で、オミクロン株

問 青木委員

被災農業者向け復旧支援事業の補助率5%について、町の歳計現金や毎月の支払い状況と基金を見れば、1千万や2千万は多く出せない金額ではないと思うが、本補正予算の再提出はできないのか。

答 栗原町長

郡内と比較しながら、基金がどのくらいあれば予算規模に対してとか、そういった見方をしながら、決して蓄えを過剰に計算して



対応ワクチン接種と小児の追加3回目接種について準備を進めるよう通知がありましたので、それらの開始を見込んで予算計上したものです。

いるつもりもありませんし、例えば保育園の問題とかいろいろな問題でそういったお金が出てきますから、今までお金を積み上げて今日まで来ているわけで、全体の予算規模からすれば1千万、2千万は大したことはないと言っても、財政運営はそういう基本からやってきているわけで、決して乱暴な話をしているつもりはありません。ほかの町の状況、災害状況、対応の仕方、全て参考にした上で、ここはどの程度投入することが、長い目で見て公平、公正につながるかと、かそういったことも判断した結果です。県が同じ状況で同じ地域でひよう被害を認定して、財政規模が大きくて豊かなところで被害が少ないところはたくさんお金が流れるという論理になり、これは不公平ではないかというところ、やはり納得がいかないものには追及ということが議論を挑んでいくということで、期待をされないほうがよろしいかもしれませんが、納得のいくまで担当課を動かして、県とのやり

取りはさせたいと思っています。それらをご理解をいただいて、原案どおり賛成していただきたい。

問 市川委員

各公民館の光熱水費について、中央190万円、東部70万円、南部50万円、北部25万円の追加ということ、中央は別として、東部、南部、北部に差があるのはなぜか。

答 小林教育委員会局長

まだコロナ禍ではありませんが、公民館の利用団体は工夫をして行事を行っている認識しています。その中でも東部公民館は、特に料理教室等で調理器を使う機会が多いかと思いますが、ロビーの広さとか、設備自体の違いや利用団体が多いほど電気を使う機会が多くなりますので、その差がここに現れているものと思います。

問 黒野委員

まちづくり推進事業400万円の追加について、板倉まつり中止に伴う代替

のイベントとして、役場庁舎敷地へのイルミネーション設置ということだが、各公民館にも多少の予算を取ることができないのか。

答 栗原町長

400万円を投資して3万球でどのくらいのものでできるかということも含め、その先は電飾を移動して可能な限り飾るということだっており得るし、いろんな応用も考えながら、4地区一緒にやるのが一番いいことですが、あるお金を効率的に使うということも考えれば、今年の11月から1月ぐらいまで、やればいろんな声も出てくるでしょうから、それらを議会につなぎますので、了解をいただければと思います。

問 今村委員

ひよう被害の議論の中で提案とお願いをしたいと思っています。一般行政サービスというのは、町長が言うように財政力の問題だとか財政規模、人口規模等によって様々だと思っています。財政力なり町の事情で政策とし

て進める事業については、やはりそれらを考えながらやらざるを得ないと私も考えています。しかし、一般行政サービスと災害対応は、おのずから違ってくると感じています。実際これだけ格差が出てしまうと、これはいろんな理屈や言い訳があっても、残念ながら理解されないのが現実かと思えますので、もう一度考え直す必要があるのかないのか。もしないとしても、このまま進めるならば、その格差を埋める何か方が町として考えられたら、少しでも格差が縮まることによって町民も納得がいく部分がありますので、ぜひその辺は努力をしていただいて、対応をお願いできればと提案します。

議案第29号 令和4年度板倉町介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ268万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億7,445万2千円とするものです。

令和4年度補正予算の賛否（一括採決）											
審議結果	今村好市	市川初江	青木秀夫	黒野一郎	延山宗一	荒井英世	針ヶ谷稔也	小林武雄	本間清	森田義昭	亀井伝吉
可決	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成=○ 反対=×	(-) =議長										

議案第30号 令和4年度板倉町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ275万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億931万4千円とするものです。

◆なお、補正予算については、9月7日の本会議において賛成多数で原案どおり可決となりました。

一般質問

議会2日目 9月7日(水)



森田 義昭 議員

災害対策について 児童の安心安全への対策について 避難訓練について

い注意喚起をし、パトリールも実施した。

避難訓練について

問 7月31日の避難訓練の行政区別参加人数は。

答 総務課長 18か所での避難者の受入れ、最終的には、1,579世帯、2,012人の方に参加いただいた。（行政区別は、左表のとおり）

緊急避難場所について

問 緊急避難所の進捗状況は。

答 総務課長 今年6月の定例会において、工事請負契約の締結に係る議決を得て、現在西岡及び海老瀬の両地区とも、早期完成に向け工事を進めている。具体的には、両地区とも個人所有の支障物件の撤去等の工事が完了して、区画ごとの整地工事を実施中である。今後、碎石を敷く路盤工事や側溝設備工事といった避難場所の本体工事と並行して、周辺の道路整備も進めていく予定となっている。おおむ

ね両地区とも現状では30%の進捗状況となっている。

問 緊急避難場所の受入れのルールは決められていると聞くが。

答 総務課長 緊急避難場所については、西岡及び海老瀬地区、両地区合わせて、約1,200台の車両、約3,000人の収容を計画している。それでも町内の避難所では避難希望者全員を収容できない状況である。町外の公的な避難場所への避難者をいかに減らすかということを考えながら、この両緊急避難場所については、利用するルール等について精

答 町長 皆さんが納得いくような形でのルールを作るのが、最も重要な課題かと思っている。



西岡地区 緊急避難場所（工事中）

通学時の交通安全対策について

問 登下校のルール指導は。

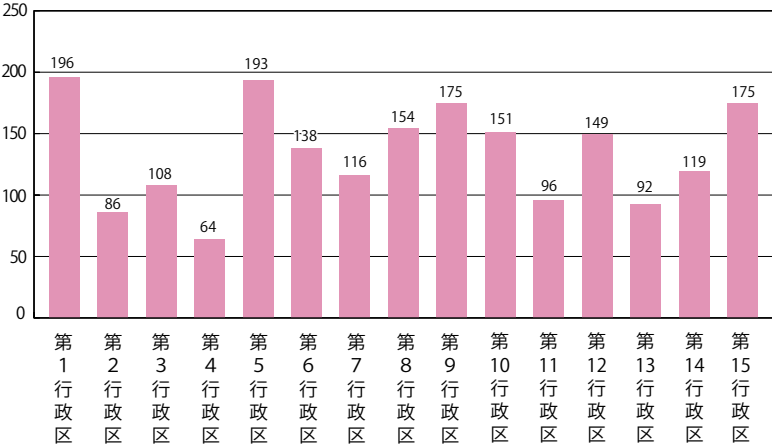
答 教育委員会事務局 児童生徒への登下校時

のルール指導については、教育委員会が定めた登下校のルールを基に各学校で定めたものがあり、毎年新年度にそのルールを確認している。日常的には朝の会、帰りの会で繰り返し指導している。

問 子どもたちへの不審者情報や、町に對しての脅迫メーの対応は。

答 教育委員会事務局 防災ラジオ等を使

令和4年度板倉町避難訓練 行政区別参加人数



一般質問

議会2日目 9月7日(水)



青木 秀夫 議員

館林板倉法定合併協議会休止の真相は給食費問題は、協議会に提案されず従って審議も議決もされず「給食費問題」合併休止の理由は虚偽

須藤市長の合併への取り組み姿勢をどのように受けとめていたか

前市長と比べてどのように感じていたか。

須藤市長は合併反対の意思表示を協議会休止前にすべきではなかったか

は赤字合併になるので反対であるとウソで市民、新聞等もダメシていた。

問…合併協議会再開直後の平成29年7月頃、須藤市長は板倉町との合併について15の市民団体と意見交換会を実施した。館林消防団との意見交換の場で「板倉町はハザードマップに洪水被害の深刻な地域であると発表されている。合併する上でリスクがある」と考えるが、

答…町長 安楽岡市長は、板倉町との合併に対して受けて立ったわけである。それに対して、須藤市長は、平成28年の板倉町長選挙に於いても合併反対の対立候補を応援していた。そのことから、須藤市長は合併反対なのかもしれないという印象を持っていた。また、市民団体との意見交換会に於ける須藤市長の発言については、もう手を上げての合併賛成でなく反対の可能性も多少含まれていると取れた。

問…平成30年7月頃、須藤市長の合併反対は本物のようであるとの見方が館林市議会、商工会の中に広まっていた。ただ、反対理由が何か分からないというのが共通認識のようであった。

答…町長 須藤市長は、もともと合併反対の立場にいたことを考えれば合併反対の人なのかなという見立が腹の中にあつた。しかし、一國一城のあるじになったわけだから私感で政治は動かせないだろうと信頼していた。その時点、その時点で理解しながら来たわけである。人の心まで読めなかった。



意見…法定合併協議は、本来の機能を果たせなかった。合併協議に必要不可欠な財政推計資料も「見せるな」「知らせるな」と法定協に提出されることなく休止となった。それを容認しているのはなぜか。血を流して獲得した西欧民主主義と棚ボタで得た日本の民主主義の違いか。

問いかけている。市長の問いかけは合併反対意見を誘い出しているとは思えない。須藤市長の板倉との合併についての熱意を安楽岡

合併する上でリスクがあると考えているが、問いかけている。市長の問いかけは合併反対意見を誘い出しているとは思えない。須藤市長の板倉との合併についての熱意を安楽岡

合併反対の本当の理由を公に示したのは、先の館林市長選挙でした。その選挙で、合併による毎年4億円余の黒字、板倉町からの持参金30億円の合併財源があることを承知して

合併反対の本当の理由を公に示したのは、先の館林市長選挙でした。その選挙で、合併による毎年4億円余の黒字、板倉町からの持参金30億円の合併財源があることを承知して

一般質問

議会2日目 9月7日(水)



針ヶ谷 稔也 議員

戦没者慰霊と平和教育 人口減少への対策

戦没者慰霊のあり方と平和教育について

戦や現在起こっている紛争・戦争について学習する。国語科では小3から中3の毎学年で発達段階に合わせた内容の文学教材を学習する。心の教育として道徳科で国際理解、国際

レットや電子黒板を用い、インターネットを活用できる。電子黒板では原爆投下時の映像や終戦時のラジオ放送被爆・戦争の語り部の話の録音などを掲示できる。タブレットでは戦時中の難しい用語などの検索が容易に取り

組める。**人口減少問題について**

問…遺族会の高齢化と式典への参列者の減少が課題となっているが、対策は。

問…高年齢者への健康寿命延長対策が取られているが、その効果は。

答…健康介護課長 目に見える効果は出ていないが、介護保険料が県下ではトップクラスに低いことや、要介護認定の人数は全国的にトップクラスの低さであることから効果は感じられる。

問…健康介護課長 令和2年度の国勢調査では独居世帯539戸、高齢夫婦世帯673戸である。年々増加の傾向に

問…小学校に於ける平和教育の実態は。

問…ICTを用いた平和教育への取り組みは。

問…高年齢者世帯(単身、二人)の推移は。

問…健康介護課長 令和2年度の国勢調査では独居世帯539戸、高齢夫婦世帯673戸である。年々増加の傾向に

答…教育長 法的根拠(教育基本法第一章第一条)に基づいて行っている。直接的なものは、社会科(小6歴史、中2歴史)で過去の大

答…教育長 ICT活用の利点は、リアルタイムで必要な情報が入手できる事である。タブ



戦没者追悼式の様子 (令和3年度)

答…健康介護課長 令和2年度の国勢調査では独居世帯539戸、高齢夫婦世帯673戸である。年々増加の傾向に

答…福祉課長 出産時期に町外へ転出していることが要因と考えられる。出生数56人の年代で小学校入学時に81人に増加している事例もある。出生数より入学者の方が多い傾向が続いている。

ことが財政の大きな仕事と思うが。

答 伊藤課長
来年度の当初予算のヒアリングの際には、現状、今年でできなかった事業がどのくらいあるのか、まだできないものがどれだけの予算があれば、今年度もしくは取り組めるのかというようなどのことについても、各課からヒアリングを行って、企画財政課として健全な財政運営ができるように努めてまいりたい。

問 針ヶ谷委員
個人番号カード交付事務について、国の委託業務かと思うが、国からの補助金で賄えているのか。あるいは町から持ち出す部分があるのか。

答 斉藤戸籍年金係長
全額国の補助金になる。

問 荒井委員
犬猫の去勢・避妊に係る



補助金については、制度がある市町が多い。動物の愛護活動の一環としてこの制度は必要だと思うが。

答 川田課長
検討していければと思う。

問 小野田委員
不法投棄の実態として、どういったもの捨てられていて、その不法投棄の処理に関してどれくらい町として費用を費やしているのか。また、不法投棄禁止の看板はあるか。

答 寺崎環境下水道係長
令和3年度については、特に大きな不法投棄はなく、家庭系のごみの投棄というのが多く見られた。処理費用は、約80万円であった。

看板については、不法投棄の実情があれば、抑止力のために必要な枚数だけ設置をしている。

問 市川委員
狂犬病予防注射の事業について、予防接種をしない犬がいる。再度の通知はしているのか。

答 寺崎環境下水道係長
未接種の犬をお持ちの方には、全て電話で確認を取っている。

問 延山委員
枝が道路にはみ出し、交通の障害が起きているところがあるが、どのように対



応しているのか。

答 長谷見安全安心係長
児童生徒の通学に支障がある校とか、また車両での通行に関わるそういった支障ということで、区長さん等を通してご相談がある。通行に支障があるということで所有者が確認できれば、所有者の方に切っていたことが基本的である。またその場所が空き家、空き地ということであれば、調査をして、その相続人等にやはり適正に管理をしていただくようにお願いしている。

問 荒井委員
国土強靱化地域計画策定事業について、今年度の計画の中から実際に具体化されたものはあるのか。

答 長谷見安全安心係長
計画の中に強靱化事業一覧を掲載している。現在は、緊急避難場所整備事業を実施中である。ほかに今後予定されている国庫補助を用いた事業である道路網の整備、下水道の整備、農業の



振興、小学校体育館の改修等が盛り込まれている。

問 小林委員
複合機の使用料について、130万円ほど削減されたが、実際の単価が幾らかから幾らになったのか。その理由はまた何なのか。

答 飯塚情報広報係長
役場内全部を一齐に再契約を結んだことで、単価については、3割ぐらいカットできた。

問 本間委員
町の広報紙に民間業者広告を載せるといったことは、どういう目的でこれを行ったのか。

答 飯塚情報広報係長

決算額

【1. 一般会計】	
歳入総額	68億7,620万4,293円
歳出総額	59億9,139万1,289円
差引残額	8億8,481万3,004円
【2. 後期高齢者医療特別会計】	
歳入総額	1億7,588万 954円
歳出総額	1億7,342万8,522円
差引残額	245万2,432円
【3. 国民健康保険特別会計】	
歳入総額	19億3,799万7,015円
歳出総額	18億5,483万6,485円
差引残額	8,316万 530円
【4. 介護保険特別会計】	
歳入総額	12億8,135万5,555円
歳出総額	12億4,049万1,673円
差引残額	4,086万3,882円
【5. 下水道事業特別会計】	
歳入総額	2億1,021万8,477円
歳出総額	1億9,034万6,709円
差引残額	1,987万1,768円

使ったお金は
いくらなの？

59億9千万円
(一般会計)

決算審査意見書要旨

【審査期日 令和4年8月3日(水) 監査委員 館野文男 荒井英世】

総括的意見 令和3年度の一般会計及び特別会計の決算は、その計数に誤りがなく、適切な予算執行でありました。総体として、財政も健全に運営されており、有効かつ適切な予算の執行によって、町民福祉の向上と地域社会の発展に努力されていたものと認めます。

町債の借入額がここ数年増加傾向にあり、今後はその返済や一部事務組合の借入に対する返済の増加が見込まれます。また、施設の老朽化による修繕費、原油価格・物価高騰や円安などの影響、さらに突発的な自然災害に迅速に対応するため、支出の増加が予想されることから、財政運営はより一層気を引き締める必要があります。これらを十分に認識し、健全な財政運営の堅持により一層の努力を期待します。

9/14 最終日

令和3年度決算
一般会計・特別会計を
全会一致で認定しました

令和3年度一般会計決算及び各特別会計決算については、予算決算常任委員会において3日間（9月8日、9日、12日）をかけて審査を行い、議会最終日に採決の結果、全会一致で認定となりました。

決算審査

令和3年度決算について、予算決算常任委員会において審査した主な質疑を掲載します。

企画財政課

問 針ヶ谷委員

予算立てをした段階で、予算内に収まらないということ、見合わせているような事業をコロナ対策の交付金で実現できたのか。

答 伊藤課長

なかなか予算化できなかったものが交付金によって実現できたという事業が

ある。交付金で購入した電気自動車は、災害時の電源として非常に強い武器になる。

問 青木委員

プライマリーバランスで計算するときは、その基金への積立ては支出というふうな計算はしないのではないかと。

答 高際財政係長

国に準じて行っている。基金積立ての支出の分も計上することになっている。

問 今村委員

ここ数年では基金繰入れが全くなくて、基金積立てのみというふうな事象はないと思う。予算をつまく使って町民の要望に応える

広告掲載料をいただいて、それを実際は広報の印刷費のほうに充当しているという循環になる。

問 小野田委員

防犯カメラ設置工費について、令和3年度に4基設置したということだが、今年度の予定と状況をお知らせいただきたい。また、ハウス団地の辺りにも設置する予定はあるのか。

答 長谷見安全安心係長

通学路を中心に主要交差点であったり、町村境等にも設置を予定している段階で、警察等からも情報提供をいただきながら関係各所と協議を図り、設置場所については検討していきたい。



福祉課

問 黒野委員

児童館や保育園のエアコンが古くなっているのですが、コロナ交付金により、それが何とか可能ならば、取り替えた方がいいのではないのか。

答 小野寺課長

今のところ、もうすぐ壊れそうということではないが、国庫補助事業等で実施できるようあれば、手を挙げていきたいというふうには思っている。

問 市川委員

コロナのために中止になっているイベントが多い。そういう中でも実施している事業があるか。

答 根岸板倉保育園長

コロナ禍でも子供たちが楽しめるような工夫をしながら、今までと同じような行事を楽しめるようにしている。

問 針ヶ谷委員

自殺対策緊急強化事業について、NPOや県や国が相談窓口、電話、SNSというオンラインでも対応を始めていると思うが、そういったところと連携ができるのか。

答 山田社会福祉係長

悩みがある方が来庁したときは、まずは必ず福祉課で聞いている。保健師さんに同席してもらい、相談に乗ってもらったこともある。また、県のアウトリーチという事業で、県のお医者さん、保健師さんに来ていただいて、福祉課も同席の下、その方のお宅に伺ってお話を聞いて、例えば医療につなげる。そういうことは行っている。

問 今村委員

保育士と幼稚園教諭の臨時特例事業の国庫補助金について、これは継続的に国は出してくれる予定なのか。それとも、単年度で終わってしまうのか。

答 田子子育て支援係長

補助金は9月分まで出る

教育委員会

問 荒井委員

文化的景観保存活用委員会の取組として、具体的に形としてまとめていく方向なのか。優先的に行うことはあるのか。

答 小林局長

普及啓発が重要だということが指摘されているので、そこを優先的に今後も進めていけたらと考えている。



文化的景観 沈下橋（大字海老瀬）

問 針ヶ谷委員

小中一貫校について、令和3年度中にどういった動きがあったのか。また、令

が、10月分以降については、幼稚園、保育園に関しては、公定価格の見直しにより、財源を確保して、賃上げの効果を持続するということになっている。

問 小林委員

保育士の仕事の中の処遇改善など、何か進めているのか。

答 根岸板倉保育園長

保育士の負担になる持ち帰りの仕事などがなくなるように、職員会議でいろいろ話し合い、少しずつ減らしていくと毎年考えながらやっている。



都市建設課

問 今村委員

町管理の9公園で、公園ごとにある程度年間の管理計画を立てているのか。

答 塩田課長

年間を通じて草の繁茂がすごい場所は、ある程度同じところであり、それを定期的にまんべんなく回れるように、その中で細分割して週で計画を立てている。

問 森田委員

県境の合の川橋のメンテナンスはどのように対応しているのか。

答 塩田課長

橋の上まで重複して、加須市で市道認定、板倉町で町道認定している。日常管理程度は板倉町で行う。本格的な修繕工事や打ち替え



板倉町側から見た合の川橋

答 小谷野農村整備係長

補助金の申請時に、実施する排水路の計画書を提出していただいている。その排水路の現地調査、確認をしてお願している。

問 小野田委員

ニータウン商業・業務用地利用促進事業について、こういった業種にアプローチをかけているのか。

答 川野辺誘致推進係長

営業をかけている業種は、多岐にわたっており、スーパー、ホームセンター、回転ずし店、家電量販店、家具屋、コピー店、ドラッグストア、書店、健康ラン



板倉ニュータウン商業・業務用地

税務課

問 今村委員

町税は、2億円近い額が予算と決算で差が出てきているが、どのような判断をしているのか。

答 高瀬課長

令和3年度の当初予算でコロナの影響をプラスアルファで見ていたというところがあったが、当初予定していたよりも、税収のほうがそれほど落ち込まなかったというような結果である。

問 針ヶ谷委員

軽自動車税について、軽自動車に乗り換えている傾向があるのか。

答 岡島住民税係長



議会日誌

8月

- 19日 全員協議会／議員のみ協議会
- 24日 群馬東部水道企業団全員協議会
- 29日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会
定例会

9月

- 6～14日 9月定例会（本会議、一般質問、各
常任委員会）／全員協議会／議員のみ
協議会／議会広報特別委員会

10月

- 12日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 14日 議会広報特別委員会
- 18日 群馬東部水道企業団定例会
- 19日 加須・板倉利根川新橋建設促進協議会
埼玉県要望
- 20日 邑楽館林医療企業団議会議員懇談会
- 21日 全員協議会／議員のみ協議会
- 27日 邑楽館林医療企業団議会定例会
館林衛生施設組合議会定例会
館林地区消防組合議会定例会
- 30日 館林地区消防組合消防隊秋季点検



請願路線位置図（大字大高嶋）



栗原町長へ提言を手渡す今村議長

令和3年度事務事業を評価

町議会から町長へ提言

板倉町議会基本条例運用基準第2条の規定に基づき、8月26日に予算決算常任委員会を開催し、令和3年度実施事業の中から総務文教福祉常任委員会と産業建設生活常任委員会が選定した各3事業、全6事業について、事務事業評価を実施いたしました。

評価にあたっては、担当課局長等から事業内容の説明を受けた後に質疑応答を

- ・行い、各委員が評価点を決定し、全員の評価点を合計して今後の方向性を3段階に分けました。
- ・その結果、現状のまま継続すべき事業が1事業、見直し（統廃合を含む）のうえ継続すべき事業が5事業、廃止すべき事業はありませんでした。
- ・この評価結果を議会の総意として、次年度以降の予算編成に反映していただく

9月6日の議会初日、産業建設生活常任委員会に付託された請願1件について、委員全員による現地調査を行いました。慎重に審査を行いました。審議結果については、議会最終日に小林武雄委員長から報告され、全員一致で採択されました。

◆町道2162・2164号線の拡幅整備について
請願者 第9行政区長 委員長報告要旨 現況幅員が狭く、豪雨時には冠水する。整備により利便性の向上が見込まれるため、願意を妥当と認め、採択とする。

請願現地調査

性があるが、どう思つか。

答 小野寺介護高齢係長

「通いの場」を推進しているが、空白となっている地域がある。こちらを各地域に設ければ、地域包括ケアシステムが十分に機能すると思っている。



通いの場での筋トレ体操

問 市川委員

不妊治療費助成の周知はどんな方法でなされているのか。また、不妊治療後の赤ちゃんが授かったという報告はあるのか。

答 山岸健康推進係長

周知については、婚姻届があった際に一緒に事業の周知をさせていただいている。そのほか、ホームページ

ジに掲載をしている。過去5年間で13件の妊娠届出があった。

問 延山委員

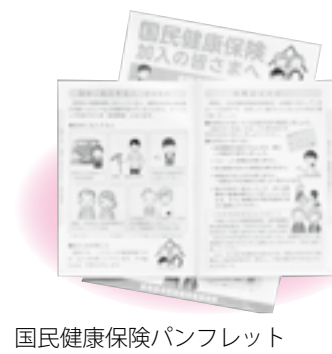
健康増進事業の健診について、コロナ発生前と現在とで変化は出ているのか。

答 山岸健康推進係長

受診率は、令和2年度に若干下がったが、令和3年度に少し回復している。集団健診の際には、密を避けるため、分散のお願いや予約制を設けるなどの対応をした。

問 青木委員

国民健康保険が県に一本化されたが、保険料、保険税はまだ各自治体ごとに差がある。いつ頃一本化するのか。



国民健康保険パンフレット

答 栗原保険医療係長

まだほとんどの都道府県で一本化にはなっていない状況で、一本化に向けて検討をしている状況である。

総括質疑



問 針ヶ谷委員

東洋大学は2024年3月で撤退が決定しているが、何かその件で報告できるものがあるか。



2024年に撤退を発表した東洋大学

答 栗原町長

県の指示で町は参加せず、

県と大学とで話し合いがなされているけれども、ほぼ進展がない状態である。

問 青木委員

4億5千万円も基金に積み立てている。先のことを心配して積み立てることは良いことだけれども、当面使えるお金はできるだけ今の安心安全のために、あるいは住民サービスのために使っていくべきだと思う。

答 栗原町長

公共構造物の老朽化に計画的建て替え等の対応を考えざるを得ない状況から、慎重な対応もさせていただいているところである。貴重な提言をいただき、有り難く思う。



南小、北小の
活用について
温かい町であり続ける
ために

小林架倫さん
(板倉中学校 3年)



僕は、南小最後の卒業生です。板倉中へ登校する度に、誰もいなくなった南小の前を通ります。自分の母校がひっそりと静まり返っている様子は、見ていてとても悲しいです。「みんなの声」に自分の意見を書けるいい機会ということで、僕は廃校の活用事例について調べてみました。すると、住宅やレストラン、さらには水族館やドローンの操縦士養成教習所などで活用されていることを知りました。町おこしのための可能性は意外と近くにあったのです。現在板倉町は南小・北小と二つも可能性を秘めた場所があります。板倉町が今のような温かい町であり続けるためにも、これらを活用しないのはもったいないと思いませんか。僕は一人の町民としても南小最後の卒業生としても、この大きな可能性をそのままにしておくのはふさわしくないので、今後の検討をお願いします。

板倉町民で良かった
と思える楽しい町へ
楽しいイベント等の
再開を

坂田裕明さん
(大字海老瀬)



みんなの 声

突然ですが、皆さんは「オモウマイ店」って番組をご存知ですか？クセの強いお店を紹介している人気番組なのですが、その中で羽生市にある「味のイサム」という店が、たびたび登場しています。先日放送された映像で、「イサムファミリー」が館林手筒花火大会に見学に来た所が流れていました。店主の家族が話していた会話で、「花火って最高だよ」などの言葉がありました。私は楽しい事って、人を元気にするんだなと感じました。長期のコロナ禍において、数々のイベント等の中止が続いています。中止にする事は、責任を追及される事もなく簡単な事です。でも私は、第一歩を踏み出す勇気も必要ではないかと思います。ウィズコロナの中で、今後は板倉町で良かったと思える様な、町民同士の交流の場となる楽しいイベント等の再開を、私は期待したいと考えております。

編集後記

子どもたちに人気の恐竜は、今から6,600万年前、地球に衝突した小惑星により絶滅したとされる。舞いあがった塵が地球全体を覆い、太陽をさえぎり、環境が激変したと考えられる。やがて生態系の頂点に君臨したのは人類だが、小惑星の飛来がわずかに20分遅れていたら、衝突はなかったぞうだ。それは、今も恐竜が支配し私たちの存在はなかったことになる。人は奇跡のような偶然が積み重なった結果誕生したといわれている。その人は有史以前より、疫病、飢饉、戦争と困難の中生きてきたが、21世紀になった過去と未来の間の今はどうだろうか？6,600万年前の大惨劇が、頂点にいた者の終末を私たちに教えている。

(議会広報特別委員 本間 清記)

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます 議会傍聴

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。

◆12月議会定例会(予定)

- 会 期** 12月6日(火)～12月9日(金)
議 事 (1)条例改正などの議案審議・採決
(2)補正予算の審議・採決
(3)一般質問

※会期等が変更となる場合もあります。

※詳しい日程等については、後日議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

議会事務局 TEL.82-1111 (内線701)
TEL.82-6154 (直通)